

- 2面 アフター60プロジェクト第2期修了イベント
- 3面 区役所第2分庁舎分館が完成
- 3面 区立図書館4月からの利用
- 4面 中学生対象の「新宿区児童手当」の申請を
- 8面 3月28日(土)・4月4日(土)に本庁舎の窓口を一部開庁
- 8面 定額給付金・子育て応援特別手当について



しんじゅくコール
☎ (3209) 9999

(午前8時～午後10時、1/1～3を除く毎日)

発行 新宿区 編集 区政情報課 (毎月5・15・25日発行)
〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 ☎(3209)1111
ホームページ <http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/>
携帯電話版 http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/mobile/index_mobile.html



携帯電話用
二次元コード

20年度区民意識調査結果

6割を超える方が「地域のために役立ちたい」

区の重要課題への区民の皆さんの意識・要望を把握し、今後の区政に反映させるため、毎年「区民意識調査」を実施しています。

20年度は「区民の皆さんの自治意識」をテーマに、毎年調査している項目のほか、「地域に対する意識」「近所付き合い」「地域課題の解決方法」「地域活動への参加」「町会・自治会への加入」などについて伺いました。

調査は、無作為抽出した18歳以上の区民の方2,500名を対象に昨年9月中旬に郵送で実施し、1,101名から回答をいただきました。ご協力いただき、

ありがとうございました。

調査結果は、現在、区が取り組んでいる自治のまちづくりのための貴重な資料として活用してまいります。調査報告書は、広聴担当課・区政情報センター(本庁舎1階)・特別出張所で配布するほか、新宿区ホームページの同課のページでもご覧いただけます。

【問合せ】広聴担当課広聴係(本庁舎3階) ☎(5273) 4065へ。

自分の住んでいる地域に対する意識

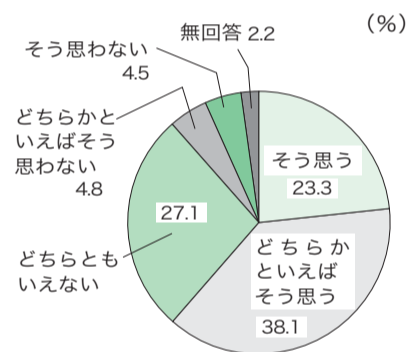
地域のために役立ちたいかどうかを尋ねたところ、「そう思う」(23.3%)と「どちらかといえばそう思う」(38.1%)を合わせた『役立ちたい』(61.4%)が6割を超えています。

地域に愛着があるかどうかを尋ねたところ、「そう思う」(40.6%)と「どちらかといえばそう思う」(36.1%)を合わせた『愛着がある』(76.7%)が7割半ばを超えました。

一方、地域でお互いに助け合っているかどうかについては、「そう思う」(13.1%)と「どちらかといえばそう思う」(29.8%)を合わせた

『助け合い感がある』は約4割にとどまり、『助け合い感がない』(25.7%)が2割半ばとなっています。

《地域のために役立ちたい》



施策への要望

(上位10項目・複数回答)

1位	(1)	高齢者福祉の充実	39.5%
2位	(2)	防犯・地域安全対策	35.3%
3位	(3)	震災・水害対策	22.3%
4位	(4)	子育て支援(少子化対策)	14.9%
5位	(9)	低所得者への支援	12.4%
6位	(7)	環境美化対策	12.3%
7位	(5)	学校教育の充実	11.4%
8位	(11)	ごみ減量・リサイクル推進	11.2%
9位	(6)	緑化の推進・公園の整備	10.9%
10位	(10)	青少年の健全育成	9.8%

※()は19年度の順位

「高齢者福祉の充実」が第1位、「防犯・地域安全対策」が第2位でした。4位までは昨年度と変わっていませんが、「低所得者への支援」「ごみ減量・リサイクル推進」の順位が上がっています。11位以下では、「消費者の保護」が21位から12位へと大きく順位を上げています。



落合三世代交流事業で

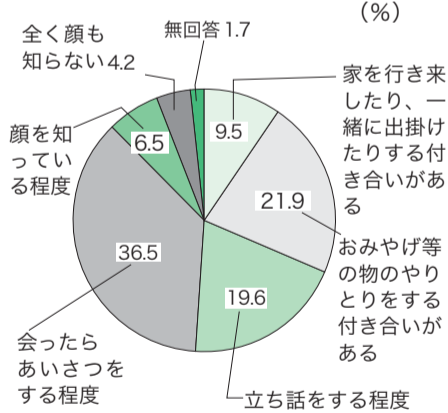
近所付き合いや困ったときの相談先

●近所付き合いの程度

「会ったらあいさつをする程度」の割合が最も高く(36.5%)、次いで、「おみやげ等の物のやりとりをする付き合いがある」(21.9%)、「立ち話をする程度」(19.6%)などの割合が高くなっています。

「家を行き来したり、一緒に出掛けたりする付き合いがある」といった親しい付き合いをしている割合は、回答者の1割弱でした。

《日ごろの近所付き合い》



●困ったときの相談先

住居形態別にみると、一戸建て・集合住宅のいずれも「家族」が最も高くなっていますが、一戸建ての方で次に高いのは「地域の友人・知人」「親せき」で、集合住宅の方では「マ

ンションの管理人・管理組合」「地域以外の友人・知人」でした。

また、同居者の有無別でみると、一人暮らしで「誰にも相談しない」と答えた方の割合は11.9%で、同居者がいる方の回答(2.7%)に比べて高くなっています。

地域課題の解決方法や地域活動への参加

●地域課題の解決方法

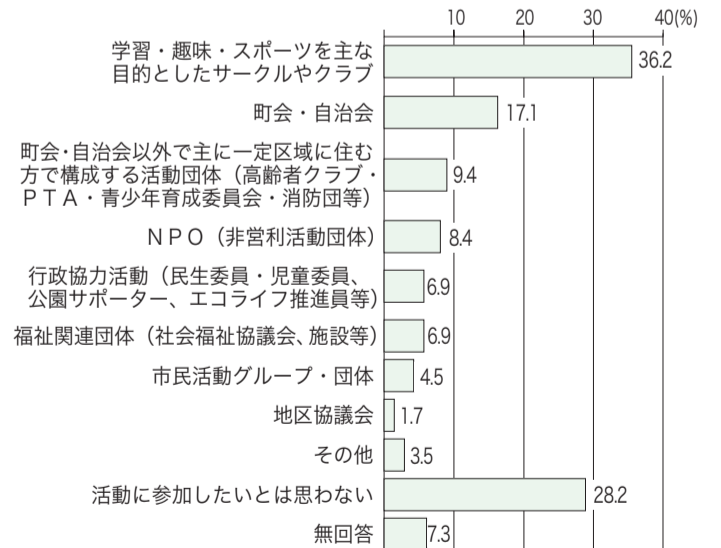
「区役所に対策を要望する」が2割半ばで最も高くなっていますが、「自分や家族で解決する」(14.7%)、「近所の

人や友人同士で解決する」(5.3%)、「地域の活動に参加し、解決する」(13.5%)を合わせると、3割の方が「自分たちで解決する」と答えています。

●今後の地域活動への参加意向(複数回答)

「学習・趣味・スポーツを主な目的としたサークルやクラブ」への参加意向が最も高く3割半ばを超え、次いで「町会・自治会」が17.1%となっています。

一方で、「活動に参加したいとは思わない」も3割近くとなっています。



区長 中山 弘子

先月19日、名誉区民の大山忠作さん(日本画家・文化勲章受章・中井在住)が亡くなりました。昨年9月、新宿歴史博物館の名誉区民展でのお元氣なお姿が偲ばれ、残念でなりません。▼控室で、名作「岡潔先生像」を描かれたいきさつを語った大山先生の好奇心にあふれたお顔は忘れることができません。数学者・岡潔先生の風貌に魅せられ、描きたい一念で連絡もせず東京から奈良に出かけ、家も上げてもらい描いたこと、さらに戸外での姿を描きたいと思い、再度連絡なしに訪問し追い返されたが、あきらめきれずに近くにいたところ、呼び戻され描くことができたことなど。▼古武士然とした大山先生が言葉多く語られたのは、格別の思いがあつたのだと思います。長女の女優・一色采子さんの舞台口癖でお会いしたときは、気恥ずかしそうに優しい一面を見せておられました。▼先生は学徒出陣し死線を超えて復員し、絵を描ける時代が来たことを心から喜び、画業に専念されたとのこと。素晴らしい思いを持続され、素晴らしい業績を残された先生から、もっと多くのことをお聞きしたかったと思います。

▼新宿のまちには、名誉区民の皆さんをはじめ、多方面にわたり素晴らしい活動をされている方が多くいます。もっと区民の皆さんに身近に感じていただけるように思っています。

コラム 新宿 まち・人・しごと

先月19日、名誉区民の大山忠作さん(日本画家・文化勲章受章・中井在住)が亡くなりました。昨年9月、新宿歴史博物館の名誉区民展でのお元氣なお姿が偲ばれ、残念でなりません。▼控室で、名作「岡潔先生像」を描かれたいきさつを語った大山先生の好奇心にあふれたお顔は忘れることができません。数学者・岡潔先生の風貌に魅せられ、描きたい一念で連絡もせず東京から奈良に出かけ、家も上げてもらい描いたこと、さらに戸外での姿を描きたいと思い、再度連絡なしに訪問し追い返されたが、あきらめきれずに近くにいたところ、呼び戻され描くことができたことなど。▼古武士然とした大山先生が言葉多く語られたのは、格別の思いがあつたのだと思います。長女の女優・一色采子さんの舞台口癖でお会いしたときは、気恥ずかしそうに優しい一面を見せておられました。▼先生は学徒出陣し死線を超えて復員し、絵を描ける時代が来たことを心から喜び、画業に専念されたとのこと。素晴らしい思いを持続され、素晴らしい業績を残された先生から、もっと多くのことをお聞きしたかったと思います。